

2010年度

科目名	宗教学				
担当教員	貫名 讓				
配当	薬学1			コード	52010
開期	前期	講時	金曜日2限	単位数	2
授業テーマ	【必修】 宗教・仏教の基礎的理解と親鸞(真宗)の教え				
目的と概要	<p>本学は「大乘仏教の精神と、真宗の宗祖・親鸞聖人の御教え」を理念として建てられた大学です。その理念を具現化するのが、宗派・情操教育の一環として行われる「お花まつり・報恩講」などの宗教行事と、宗教学という学問的体系として展開される「宗教学」(講義)です。どちらも慈悲の精神(相手を思いやる心)の重要性と、大乘仏教の真髓を究極のレベルにまで高められた親鸞聖人の人生観を通して、人としての心を学ぶ場です。</p> <p>そこで「宗教学」の講義では、まず宗教を社会現象の一つとして捉え、構造を学ぶことによって、宗教が持つ特性を考えていきます。これからの人生において何らかの宗教と関わりを持った場合に、その本質を見極める能力を育成するものです。次に本学の「建学の精神(理念)」に関わる大乘仏教の教えと親鸞の人生観をみていきます。インドで釈尊(ゴータマ・ブッダ)によって説かれたところからスタートした仏教が、中国を経て日本に伝承されてきた経緯と、日本に伝わってきてからの変遷・展開をうかがい、そして鎌倉時代に「念仏ただ一つ」と説いて民衆の中に入っていった親鸞の生き様に触れることにより、現代に必要なものが何かを探ってみようと思います。</p>				
成績評価法	総合評価(平常点・試験)				
テキスト	経験論の宗教学／荻野勝行・貫名讓共著／杉山書店				
参考書					
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	オリエンテーション	1. 大谷の学生として、本学の「建学の精神」を理解し、自らの見解を述べることができる。 2. 「宗教学」の講義の概略を理解し、講義の特性を把握できる。	独自 独自	知識 知識
2	講義	宗教の発生・展開と機能、宗教と死生観、祈りと宗教	1. 宗教の発生について、どのようにして起こったかを説明できる。 2. 人類の歴史の中で、宗教が受け持ってきた役割を説明できる。 3. 「生と死」について、自己と他者の「生命」とどう向き合うか、自分なりの考えを述べることができる。 4. 「祈り」とは何を意味するのか、説明できる。	A(1) A(1) A(1) A(1)	知識 知識 知識 知識
3	講義	宗教の種類、宗教的行為と宗教、科学と宗教	1. 部族宗教・民族宗教・世界宗教の違いについて説明できる。 2. 自然宗教と創唱宗教の違いについて説明できる。 3. 世界三大宗教の特徴を説明できる。 4. それぞれの宗教が持つ特性と礼拝の方法について説明できる。 5. バイオエシックスとは何かを説明できる。 6. クローン・脳死・臓器移植・尊厳死などの諸問題について、自分なりの見解を示すことができる。 7. 科学と宗教は、どう関わり合うべきか、自分なりの見解を示すことができる。	A(1) A(1) A(1) A(1) A(1) A(1) A(1)	知識 知識 知識 知識 知識 知識 知識
4	講義	釈尊の生涯	1. 釈尊の生涯を理解し、説明することができる。 2. 仏教がどのようにして起こったかを説明できる。 3. 釈尊の出家の要因を説明できる。	A(1) A(1) A(1)	知識 知識 知識
5	講義	仏教の教えの基礎	1. 諸行無常、涅槃とはどのような意味かを説明できる。 2. 縁起について理解し、説明できる。 3. 「中道」とは何かを説明できる。 4. 現実を見極め、理想に至るとはどういうことか、自らの意見を述べることができる。	A(1) A(1) A(1) A(1)	知識 知識 知識 知識

6	講義	大乘仏教の教え、浄土教と阿弥陀仏	1. 大乘仏教の起こりと特徴を説明できる。	A(1)	知識
			2. 浄土教とは何かを説明できる。	A(1)	知識
			3. 「浄土」と「阿弥陀仏」について説明できる。	独自	知識
7	講義	日本仏教と聖徳太子	1. 仏教伝来について説明できる。	独自	知識
			2. 仏教の導入と展開を説明できる。	独自	知識
			3. 聖徳太子の目指したものは何かを考察することができる。	A(1)	知識
8	講義	南都(奈良)仏教と平安仏教	1. 国家仏教の形成と特徴を説明できる。	独自	知識
			2. 仏教と民衆との関わりについて説明できる。	独自	知識
			3. 最澄と空海の目指した仏教とは何かを説明できる。	A(1)	知識
			4. 平安時代の仏教の展開について説明できる。	独自	知識
9	講義	鎌倉新仏教	1. 既成仏教と新仏教の相違について説明できる。	独自	知識
			2. 新仏教と民衆との関わりについて説明できる。	A(1)	知識
			3. 新仏教の特徴を説明できる。	A(1)	知識
			4. 法然・親鸞・一遍・栄西・道元・日蓮の略歴を説明できる。	独自	知識
10	講義	親鸞の生涯	1. 親鸞の生涯を参考にして、自らの人生観を考察することができる。	独自	知識
11	講義	親鸞の阿弥陀仏観、本願(仏の願い)と名号(名前)の意味・意義	1. 親鸞が拠り所とした「阿弥陀仏」とはどのような仏であったのかを説明できる。	A(1)	知識
			2. 「南無阿弥陀仏」の意味するものを説明できる。	独自	知識
12	講義	信心と念仏	1. 「他力」の正しい意味を説明できる。	独自	知識
			2. 親鸞にとっての「よろこびの心」とは何かを説明できる。	A(1)	知識
			3. 「感謝の心」とは何かを自分なりに考察し、意見を述べることができる。	A(1)	知識
13	講義	親鸞の人間観、非僧非俗と妻帯生活、在家仏教と御同朋・御同行の精神	1. 「善人なをもって往生をとぐ、いはんや悪人をや」(善人が往生できるのであれば、なおさら悪人の往生は言うまでもない)の言葉が意味するものが何かを説明できる。	A(1)	知識
			2. 親鸞の人間観を通して、自分なりの人間観を述べることができる。	独自	知識
			3. 親鸞がなぜ結婚したのか、その要因と人々に与えた影響について説明できる。	独自	知識
			4. 「親鸞は弟子一人もたず候」が意味するものを理解し、そこから何が大切かを述べることができる。	独自	知識
14	講義	まとめ	1. 「宗教」を通して、現代に必要なことは何か、自らの思いを述べることができる。	独自	知識
			2. 釈尊の生涯とその教えを通して、人と人との関わりの中で大切なことは何かを述べることができる。	独自	知識
			3. 親鸞の生涯とその思想を通して、自らの人間性を見つめ、意見を述べることができる。	独自	知識
			4. これからの人生をいかに生きるべきか、自分なりに考えたことを述べることができる。	独自	知識
15	講義	試験	1. 講義の内容理解。	独自	知識
			2. 現代が抱える様々な問題に、自分なりの意見を述べることができる。	独自	知識